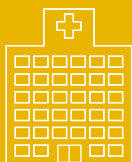


# 八鹿病院 ニュース



2015年

10月号

地域に暮らす人々と共に  
心あたたかな医療をすすめたい



● yoka hospital 「医療」

## 耳鼻咽喉科

- TEAM八鹿病院「公立八鹿病院看護専門学校」
- 現場レポート！「医事課って何するところ？」
- トピックス

### 公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。



当院は敷地内全面禁煙です  
ご協力宜しくお願い致します

# 耳鼻咽喉科

患者さんに納得して治療を受けていただくため、診断の結果、治療の内容について丁寧に説明したうえで方針を決めていきます。



## 症状に応じた適切な治療をこころがけています

はじめまして、耳鼻咽喉科の谷本俊次です。

但馬に戻ってきてきて15年、八鹿病院で勤務を始めて13年になります。帰ってきてからこれまで、但馬の医療現場の変化に翻弄されております。

赴任当初、浜坂病院1名・香住病院1名・豊岡病院3

名・八鹿病院2名、合計7名の耳鼻科の病院勤務医がいましたが、新臨床研修制度が開始されてから但馬の病院勤務耳鼻科医は減少を続け、現在の但馬の病院常勤の耳鼻科医は香住病院の正垣先生と私の2名になってしまいました。実に7名から2名への減少です。但馬において、以前までと同じ医療レベルを提供することは難しくなりました。

それ比べて、開業の耳鼻科医は、えんどう医院(豊岡)・高岡耳鼻咽喉科クリニック(和山)の2カ所でしたが、現在は、しば耳鼻咽喉科クリニック(豊岡)・つるさこ耳鼻咽喉科(日高)・正垣耳鼻咽喉科クリニック(養父)を加えた5カ所に増えています。但馬内、地域的にバランス良く開業されていると思しますので、初めて耳鼻咽喉科を受診される際は、できる限り近くの開業医さんを受診していただき、ご相談いただけますことをお勧めします。その上で、必要があれば、当院の耳鼻咽喉科への紹介を含めて病院の受診を検討いただければと思います。

当科は主に月曜日・水曜日・金曜日が通常の診察日で、火曜日・木曜日は手術日となっております。外来は原則として予約制です。早期の医療介入が望ましいと判断される救急疾患の方はこの限りではありませんが、そうでない方については受付で予約を取っていただき、後日の予約日に受診していただくようお願いしています。ご自身で緊急性の判断は難しいと思いますので、ぜひ、まずはお近くの開業耳鼻咽喉科を受診して下さい。



## さまざまな手術に 対応しています

耳鼻咽喉科領域の手術についてはほぼ全域をカバーしています。今まで、耳鼻・のどの手術を3000例以上執刀しており、外来での手術も相当数行っております。術中・術後合併症を数例経験しています。小児の手術も行っておりまして、現在当院に小児科の常勤医が不在のため、安全を第一に考え、他院へと紹介させていただいております。また、大きな血管のそばを処置する手術や、内耳の操作が必要な手術については行っておりません。

常勤する病院へ紹介させていただく場合もあります。頭頸部ガンの場合、手術を行うことでの機能の損失が大きいことが予想されまゝ。話せなくなったり、食べられなくなったり、場合によっては眼球を失うこともあります。そのため、どうしても手術を受けたくない患者さんには、常勤医師が1名であることのデメリットをご説明させていただき、ご理解いただける場合は、当院で放射線や化学療法による加療を行うことも可能です。手術を計画的に行った方が良くと考えられる方には、兵庫県立がんセンターや大学病院での治療をお勧めしています。病理診断によって適応があると判断される場合は、重粒子線治療も積極的に紹介させていただきます。

また、がんの終末期の医療を受ける場合には、当院緩和ケア科にて対応いたしますが、ご希望により耳鼻科でもケアさせていただき

## めまいについても ご相談ください

めまい相談医（日本めまい平衡医学会による認定医）ですので、末梢性から中枢性のめまいの相談を積極的に受けいたします。中枢性のめまいにおいて、診断から眼球運動の検査を行った上で、より積極的な管理が必要と思われる方については、脳神経内科や脳神経外科への紹介も行います。中枢性のめまいであっても保存的治療で問題ない場合は、耳鼻科にて治療いたします。



## 皆様へのお願い

さて、最後になります。が、耳鼻科医1人の診療科では、必ずしも十分な治療が行えるとは限りません。複数の医師が勤務している施設に比べて、診察できる患者さんも行う治療も制限せざるを得ません。そのため、地域の開業医の先生と連携をとりながら、但馬の耳鼻咽喉科疾患に対応していければと心がけております。また、大きな病院とも連携をとることで、更に積極的な治療を受けていただけるよう考えております。

また、医療の現場は人とのつながりが大切であると思っております。ご自身、ご家族が当診療科の治療方針を十分にご理解頂き、患者さまの治療に対して一体となって向き合えたらと思っております。今後とも、当院の耳鼻咽喉科につきまして、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



たにもと しゅんじ  
**谷本 俊次**  
公立八鹿病院 耳鼻咽喉科 部長

兵庫県朝来市生野町出身。  
昭和57年、兵庫県立生野高等学校卒業。  
平成元年、鳥取大学卒業、同大学耳鼻咽喉科入局。  
松江赤十字病院、公立香住病院を経て当院へ。



当院と一緒に地域の方々を支える仲間を紹介！



# 公立八鹿病院 看護専門学校

地域で活躍できる人材の

育成を目指して

公立八鹿病院看護専門学校  
教務課長兼教務主任

藤田 泰代

本校が開校して、来春には創立25周年を迎えます。この間、約600名の卒業生を輩出してきました。多くの卒業生が、八鹿病院をはじめとする但馬圏域の医療施設で活躍しています。

今、日本は高齢化の進展に伴い、地域における質の高い医療の確保、その基盤の整備を推進しています。本校においても「人に寄り添うところを培い、人々の健康生活を支援できる有能で、そして社会の変化に対応できる看護師の育成」を目指しています。

4月

教育キャンプ

7月

初めての病院実習

1月

学習を基に病院実習



6月 5月

ともしびの儀  
成人の健康調査

月

成人・老年看護学の

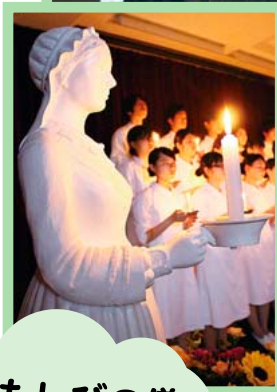
積み重ねていきます

1年生：学内での基礎看護学の学習が中心です

入学



学内で解剖生理や基礎看護学などを中心に学びます。演習では、患者役の学生やトレーニング用の人体モデルを相手に、体位変換・車イスへの移乗・身体の清潔・血圧測定等の技術を学びます。技術試験もあります。



ともしびの儀

学内演習



この日はベッド上での清拭の演習。お湯の温度や手足の持ち上げ方など、気を付けるポイントがたくさん。



本校は1学年30名の定員で、9名の専任教員が、日々様々な指導に当たっています。しかし、9名の教員では多岐にわたる看護学を教育をするには限界があります。看護に関連した一般教養は、神戸・鳥取・京都・大阪の大学から講師陣を迎えています。医学や看護学に関連した科目には、専任教員と学校長のほかに、八鹿病院組合より70名、豊岡病院組合より6名の方々に講師を依頼しています。その他にも、朝来健康福祉事務所や養父市役所の方にもご協力いただいています。

また本校の特色の一つに、地域で活躍できる人材の育成を目指しています。地域の皆様の温かいご支援やご理解のもと、保育園、養父市内の企業、自治会の皆様にも看護教育にご協力いただいています。

今回、看護師になるまでの3年間のカリキュラムを紹介いたします。

2月

国家試験

9月

小児・母性看護学の  
地域支援実習

実習



2月

成人・老年病院実習

11月

基礎看護学実習

9

地域支援実習



卒業

3年生：実習が盛りだくさん

2年生：様々な看護学を



ここまで学習したことを基に、臨地実習が中心となります。実際の医療現場で実習を積むことで、看護職の役割や多職種との連携を学びます。国家試験合格を目指して、ラストパートに励みます。

5月「ともしびの儀」では、ナイチンゲール像からともしびを分けていただき、看護師になる誓いを新たにします。地域支援実習や病院実習をおこなうなど、学ぶ内容も本格的になっていきます。



臨地実習

八鹿病院での病棟カンファレンスの様子。このほかにも老人保健施設・南但訪問看護センター、その他医療施設などで臨地実習をおこないます。

小児看護学・母性看護学・精神看護学で地域支援実習にも出かけます。



地域支援実習



健康支援



地元の企業や地区の自治会のご協力のもと、実習として地域へ出向き、健康に関する調査や相談をおこないます。それぞれのケースに合わせて、手作りの資料を持参したり、ストレッチをご紹介したりしながら、健康維持へのアドバイスをします。

# 「医事課」って何するところ？



病院運営を支える大切な部署です。今回は、そんな医事課のお仕事についてご紹介します。

受付でのご案内や、受診・入院時の医療費計算をしています

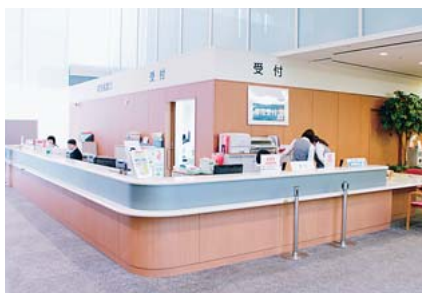
医事課という部署は、みなさんにとって、あまり聞き慣れない部署だと思いきです。

これは、病院特有の部署で、患者さんの受付や医療費の計算などの医療事務を行うことが主な仕事です。

## 受付

病院に受診に来られた際、まず窓口でお声をかけさせていただく職員が、医事課です。

ここでは、初めてお見えになる患者さんの診察券の発行やカルテ・保険証の登録をします。月に一度の保険証確認、入院の説明や入院病棟へのご案内も行います。紹介患者さんは専用受付にて、優先的な受付を行い、各外来へのご案内します。また、予約外の患者さんには、総合案内の看護師や外来スタッフと連携して対応しています。



## 外来



外来には、医師や看護師のスタッフと一緒に医事課のスタッフがいます。

外来の受付で患者さんの診療がスムーズにできるよう準備を行い、診療後は請求金額を計算しています。医療費の内容などについて、分からないことがありましたらお気軽にお尋ねください。

## 入院

退院日に合わせて入院費の請求金額を計算します。退院日（退院日が休日の場合は前日まで）に納入通知書（請求書）をお配りします。また、入院中の患者さんには、前月分の入院費の納入通知書を翌月の10日（休日の場合は翌稼働日）にお配りしています。

事前にお支払い金額の確認を希望される場合は、概算金額をお知らせいたしますので、各病棟の事務担当までお問い合わせ下さい。





## 受診についてのご案内

当院は一部の診療科を除き、予約制になっています。救急はこの限りではありません。

### 【ご持参いただくもの】

- 当院の診察券
- 保険証
- 診療費（カード払いも可能）



※お持ちの方は、**紹介状やお薬手帳、各種医療受給者証**もご持参ください。



## 医事課からのお願い

- ▶ 毎月、最初の来院時に、「**保険証を受付にご提示**」ください。  
確認できない場合、実費でのお支払いになります。
- ▶ 八鹿病院では「**患者さん間違い防止**」のため、氏名を名乗っていただき本人確認をしています。  
あちこちで何度もお名前をお伺いしますが、ご協力を宜しくお願い致します。
- ▶ 外来受診時に発行しております「**ご案内用紙**」の番号は受付番号で、診察の順番ではありません。  
予約時間や検査の有無等により、受付番号順にお呼びできませんがご了承ください。

この診療報酬請求は月末締め日とし、翌月の10日まで患者さんごと（入院・外来別）に作成し請求します。請求時に請求先を誤らないようにするため、みなさんに「毎月保険証を確認させていただきます。」「保険証が変わったら窓口に出してください。」とお願ひしています。

患者さんが病院を受診された際、国の決めた点数とルールに基づいて医療費を計算しています。  
この医療費は、被保険者負担分と保険者負担分へ振り分けられ、患者さんには、このうち被保険者負担分のみを、お帰りの際にお支払いいただいております。残りは、患者さんが加入している保険者（社会保険や国民保険など）へ請求する業務を行います。

### 医療費計算



## 耳 寄 り 情 報

### 医療費が高額になりそうなときは**限度額適用認定証**をご利用ください!

医療機関や薬局の窓口で高額なお支払いをされた場合、ご自身が加入されている公的医療保険へ申請することで、自己負担限度額を超えた額が払い戻される「高額療養費制度」があります。しかし、あとから払い戻されるとはいえ一時的な支払いは大きな負担です。

**70歳未満の方**が「限度額認定証」の交付を受け、お支払いまでに医療機関等に提示しておくと、1ヶ月の窓口支払が自己負担限度額までとなり負担を軽減できます。

**70歳以上の方**の多くは、すでに加入している公的保険で1ヶ月の限度額が設けられている為、申請は不要です。

※入院時の差額ベッド代や食事代は対象外です。

※限度額は所得等によって異なります。

※住民税が非課税世帯の方等は負担額が安くなる場合もありますので保険者へご確認下さい。

入院や外来での高額な治療の前には、ぜひ「限度額認定証」の交付を受けられることをお勧めします。ご不明な点などございましたらお気軽にお尋ねください。

## トピックス

### 7月7日 院内七夕コンサート

八鹿病院合唱団、看護専門学校24期生、楽歌の会（患者会）の皆さんによる歌をお届けしました。また、今年はベルストリングス（フルート・ピオラ・チェロ・バイオリンによる四重奏）の皆さんにもご出演いただきました。コンサートの最後には会場全員で願いを込めて「七夕さま」を合唱。笑顔あふれる楽しいひとときとなりました。



### 8月4日・5日 ふれあい看護体験

今年は2日間で83名の高校生の皆さんが参加され、各部署でさまざまな体験をしていただきました。このイベントでは、看護部だけでなく、リハビリ科・薬剤科・栄養管理科などでも参加者を受け入れています。多職種によるチーム医療の現場を見たり、参加者同士で交流したりすることで、将来の目標について幅広い視野で考えるきっかけにいただければ幸いです。



### 8月5日 医師を目指す 高校生のためのセミナー

医師不足の解消を目指し養父市との協力で実施している高校生セミナーが、今年も開催されました。谷風院長、研修医の岩井医師・坂本医師による講演のあと、机を囲んでのフリートークでは、受験に向けた学習方法についての具体的な質問から、多忙な中での息抜きの話まで、和やかな雰囲気での質疑応答がおこなわれました。医療現場体験として、AEDを使った心肺蘇生の講習会や手術室の見学もおこなわれました。



### かかりつけ医へ通院中の方へ

かかりつけ医へ通院中の方が体調の異常を訴えられた場合、直接当院へ来られる前に、まず、かかりつけ医への受診をお勧めします。かかりつけ医の先生から紹介状を書いていただき、それを持参して来院して下さるようお願いいたします。



### 医師異動のお知らせ

【新任医師】平成27年10月1日～  
～よろしく申し上げます～



【外科】  
あおき ともあき  
青木 丈明



【外科】  
このの あつひこ  
河野 敦則

【退任医師】平成27年9月30日付  
～お世話になりありがとうございました～

【外科】 秋田 真之  
【外科】 内田 孝宏  
【歯科口腔外科】 岡本 充浩

※歯科口腔外科については、  
10月以降、鳥取大学医学部附属病院より  
毎月交替で医師が派遣されます。

発行

公立八鹿病院 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1 TEL. 079-662-5555 (代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

